

教科研究課題	自己の言動に責任をもち、主体的に判断する生徒の育成 ー考え、議論する道徳の学習を通してー
--------	---

1 主題名 「明日、みんなで着よう」 C- (11) 公正、公平、社会主義

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目 C- (11) は、「正義と公平さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること」である。いじめは深刻な社会問題となっている。どの学校でもどの学級でも起こりうるものと捉えられ、泉丘中学校の生徒にとっても身近な問題として直面する可能性があると言える。被害者はもちろん、加害者や周りの人間も幸せにならないいじめに対して、絶対に許さないという気持ちを一人一人にもたせていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態 (男子 15 人、女子 17 人、計 32 名)

本学級は男女仲良く生活することができる明るくクラスである。授業にも集中して取り組んだり、分かったことや考えたことをこまめにノートに記入したりする姿が見られる。実態調査では、道徳科の授業を好きだと思っている生徒は 10 人だった。その理由としては、共感ができるから、自分の考えが成長している気がするからだった。また、道徳科の学習で積極的に発表できる生徒は 10 人であった。その理由としては、自分の考えに自信がなかったり、発表することが苦手だったりするからであった。生徒は、他の人と考えを共感することができる道徳科を好きだと考えているが、その考えを全体へ発表することには抵抗があることがわかった。

[実態調査] 5月17日実施 2年5組 26名

1 道徳科の学習は好きですか。	はい…10名	ふつう…12名	いいえ…4名
2 道徳科の学習で積極的に発表できますか。	はい…10名	いいえ…16名	
3 自分の考えを書くのは得意ですか。	はい…10名	ふつう…7名	いいえ…9名

そこで、本時の学習では、挙手による「発言」を用いた発表方法の他に、タブレットを用いた発表方法も活用する。いつもは発表できない生徒の意見も吸い上げることで、多角的・多面的な意見の交流ができるようにする。

第2学年として、新しいクラスでの生活にも慣れてきた一方、軽はずみな発言や人を馬鹿するような発言で指導を受けた生徒もいる。日常に潜む偏見や差別に気付かせ、それらを絶対に許さない心を育てたい。

(3) 教材について (教材「明日、みんなで着よう」 『中学道徳2 光村図書』)

本教材は、ピンク色のポロシャツを着て登校した男子生徒がいじめにあい、その男子生徒の上級生がいじめに対して反対運動を行うという文章で構成されている。男子生徒の上級生の行動から、周りでいじめが起こったときに自分事として捉え、自分はどのように行動するかを考えることができる教材である。

生徒自身も自分のこれまでの行動や言動を振り返り、相手の痛みを自分の痛みとして感じることの大切さに気付かせたい。また、神奈川県領家中学校の取り組み (教科書 p. 36 に記載) と同じ活動をすることで、いじめについての自分たちの意見を深められるようにしたい。

3 本時の学習

(1) ねらい

「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動を、世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、いじめが起こったとき、どう行動するかについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現しようとする実践意欲と態度を育てる。

(2) 準備・資料

資料 (中学道徳2 p. 33~36), ワークシート, パソコン, 電子黒板, 模造紙, ピンクカード

(3) 展開

	主な学習活動と発問 (○補助発問 ◎中心発問)	予想される生徒の反応	支援の手立てと評価 (◎)
導 入	1 「いじめ」についてのアンケート結果を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「うるさい」も言い方によってはいじめだと思う。 ・これは私は言われても平気だけど…? ・友人との関係性にもよる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に偏見が潜んでいること、言い方や状況によっては人を傷つけることがあることを押さえる。 ・様々な場面を想起するよう助言する。
展 開	<p>2 教材「明日、みんなで着よう」を読み、話し合う。</p> <p>○学校がピンク色に染まったのは誰のどんな思いがあったからだろうか。【一斉】</p> <p>○学校がピンク色に染まったことについて、前日にいじめられていた男子生徒は、どんなことを思っただろうか。【ペア・一斉】</p> <p>○「心が温かくなることば」をピンクカードに書き、ピンクシャツデーを体験する。【一斉】</p> <p>3 「いじめ問題」とこれからの自分の在り方について考える。</p> <p>◎いじめが起こったとき、あなたならどのような行動をしていきたいか。 【ペア・一斉】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラビスさんのいじめ被害者を出してはならないという思い。 ・自分にも味方がいた。 ・心強い。 ・うれしい。 ・ありがたい。ありがとう。 ・一人じゃないよ ・味方になるよ ・力になりたいよ ・「力になるよ」と声をかけた ・周りの大人に相談したい。 ・トラビスさんのように味方であることを行動で示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加害者に訴えるのではなく、第三者や傍観者の在り方に注目させたい。 ・「思い」と「行動」には繋がりががあると分かるよう板書する。 ・被害者の思いに触れることで、トラビスさんの勇気が何をもたらしたかについて迫れるようにする。 ・日本のピンクシャツデーの取り組みについていくつか事例を紹介することで、中学生の自分でもできることに気付かせたい。 ・一人一台所持しているパソコンの機能を使い、クラスの意見を集約・画面共有することで、普段道德の授業で発表できない生徒の意見にも注目できるようにする。
終 末	<p>4 本時の振り返りを行う。ワークシートに本時の振り返りを記入する。</p> <p>5 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」がなくなるためには、周りいる人たちの行動が重要になってくることが分かった。 ・「男だから」「女だから」という考え方をやめようと思った。 	<p>◎いじめが起こったとき、どう行動するかについて考え、いじめや差別、偏見のない社会を実現しようとする意欲と態度をもつことができたか。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えをもてたこと、考えが広がったことを認め、まとめとする。